**バリアフリーフェスタかながわ2019　実行委員会構成団体アンケート**

参考資料３

※回答数n=18（うち出展団体16・参加委員1・未参加団体1）

問１　貴団体コーナーの参加人数（スタンプを押した人数）を教えてください。

|  |
| --- |
| 計　1449名 |

問２　貴団体がフェスタ参加者に伝えたかったことは、どのような内容ですか。

|  |
| --- |
| ○株式会社アデランス  外見が（ウィッグを着けてメイクをする）変わる事への喜び。  ○NPO法人神奈川県障害者自立生活支援センター  ・車椅子に乗った時の目線の高さや、操作の難しさ、大変さ、怖さ等体験して理解してもらう。  ・障がいのある人たちが、車いすで当たり前に街に出かけることに、どれくらいの困難さが伴うのかを知ってもらい、全ての人が住みよい街づくりを進めよう。  ○NPO法人横浜市まちづくりセンター  普段感じない車椅子の大変さ、目線、死角、乗り方などを体験してもらい、今後のライフスタイルや廻の人々への関心を気づいてもらうこと。  ○公益社団法人かながわ住まいまちづくり協会  車イス利用者と環境の不適合を体感　⇒　住まい、まちのバリアフリー化  ○公益社団法人神奈川県聴覚障害者協会  ・耳が聞こえない、聞こえにくいとはどういうことか。  ・耳が聞こえない、聞こえにくい人に伝えるためにはどうすればいいか。  ○座間キャラバン隊  障がい児者への理解啓発。  〇神奈川県手をつなぐ育成会  すべての知的障がい児者などが、生き生きとした普通の生活をしていけるように、情報を知ってもらいたいこと。  ○神奈川県民ホール（公益財団法人神奈川芸術文化財団）  当事者団体や福祉関係の団体だけではなく、文化施設も、社会の一員として、福祉のまちづくりに参加していること。  ○神奈川県網膜色素変性症協会（JRPS神奈川）  ・ロービジョン（眼が見えない・見えにくい状態）の体験を通じて、視覚障がい者に対する理解を深めることができれば、街中で視覚障がい者を見かけたときに見守っていただいたり、一言声をかけていただける人がひとりでも増えればという思いを伝えたかった。  ・たとえ眼が見えない・見えにくい状態になっても適切な情報とサポートがあれば（特殊なものを除けば）自分で出来るようになることを伝えたかった。  ○認定NPO法人神奈川子ども未来ファンド  「いじめストップ！ピンクシャツデー・アクションの紹介を通して、多様性を認め合う社会づくりを伝えました。  ○NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構  色覚が多様であり、どんな問題があって、どう解決できるか。  ○株式会社ファンケル  視覚障がいの方もメイクを楽しめる！ということ。メイク（や、アデランス様のウイッグ）で、気持ちがとても明るくなり、自分や、周りの喜びにつながるということ。  ○神奈川県立三ツ境養護学校（神奈川県教育委員会）  ボッチャは、「パラリンピックの正式種目であること」、また、「障がいや年齢、性別に関わらず、誰でも、誰とでも取り組めるスポーツであること」を、体験を通して知り、パラススポーツへの関心を高めてほしい。  ○NPO法人Music of Mind  音楽を通じて、障がいのある方もない方も垣根が無いことをお伝えすること。 |

問３　フェスタでは、参加者に伝えたいことを伝えることができましたか。次の中からあてはまるものを１つ選んでください。（○は１つ）　　　　　　　　　　　　　　　　　 （n=16）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １　伝えることができた 16 | ２　分からない 0 | ３　伝わらなかった 0 |

【問３で「２分からない」「３伝わらなかった」とお答えの方に】

問３－２　伝えることができなかった理由は何ですか。（○はいくつでも） (n=0)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| １　内容が難しすぎた 0 | ２　内容が簡単すぎた 0 | | ３　来場者に興味がなかった 0 |
| ４　当日の対応時間が足りなかった 0 | | ５　フェスタの準備時間が足りなかった 0 | |
| ６　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）　0 | | | |

問４　各団体のコーナーで、良かった企画や工夫がありましたら、自由に記載してください。

|  |
| --- |
| ○出展団体  ・皆良かったと思います。  ・クイックマッサージについては、毎年多くの来場者があって良かった。  ・無資格者の横行についてチラシを配布して理解を深めることができた。  ・現在実施されているあはき１９条裁判についても説明することができて良かった。  ・昨年に比べてスペースが広くて良かった。  ・予想以上に込み合い椅子が足りず追加で設置を行った。  ・声かけ体験は初めてだったがよかったと思う。  ・初めての企画「声かけサポート」は良かったと思います。  ・体験をした中で、ある女性の一言が印象に残りました。「横浜にいる娘の所へ茨木から来て、このイベントに参加しました。声かけサポートを体験出来て自信が持てたのが良かったです。地元で視覚障がい者を見かけますが、今までは声をかけられませんでした。これからは、声をかけます。」と笑顔でお帰りになりました。  ・誘導体験では参加していただいた方から町や駅で困っていそうな視覚障がい者を見るがどう、声をかけたら良いかと多くの人から聞きました。  ・参加者には看護師もいて、院内で視覚の患者さんを院内誘導するので誘導の仕方に興味があったそうです。  ・晴眼者も困ったような視覚障がい者を見かけてもどのように声掛けをしてよいかと考えていてその後心配になるそうです。  ・視覚障がい者と晴眼者がお互いに誘導体験が出来る周知活動はこれからも継続してバリアフリーフェスタなどに参加したいです。  ・声掛けサポートの体験に来ていただいた方で、「目の悪い家族がいた」「何度か誘導の体験をしたことがある。」などの話をしていただきました。  ・声掛けサポートのコーナーを今後も続けてやれたら良いと思った。  ・参加者の多くの方から「これから困っている人を見かけたら声をかけてみます。」などの声をかけていただきました。  ・誘導体験の方と歩きながら、気付いたことや、質問されたことには答えたつもりになっていましたが、前もってパンフレットをもっとしっかり読んでおくべきだったと反省しました。  ・手話体験のコーナーに行きましたが当事者の方に直接あいさつの手話を教えてもらいました。  ・手話通訳者もいましたがジャンルは違えど障がい者同士でこみにケーションでき嬉しかった。  ・健康コーナー（介護フェアのコーナー）も良かった。生活や食生活の見直しの参考になりました。  ・血管年齢 骨密度計測（介護フェアのコーナー）は良かったと思います。  ・補聴器や聞こえ方についての相談コーナー（介護フェアのコーナー）も参考になった。  ・介護食品コーナー（介護フェアのコーナー）も参考になった。  ・忙しかったため、他団体を回ることができませんでしたが、隣のボッチャは、親子連れに人  気でした。介護フェアへの参加者は、福祉事業者や成人が多いと見受けられますので、もっと  親子連れの参加を想定するなら、車いすの体験も含め、このような企画がポイントなると思い  ます。  ・手話体験コーナーが良かった。  ・特になし  ・視覚障害者協会が行っていた、実際に誘導してみるという誘導体験はよかったと思う。  ・他のコーナーに参加させていただく余裕がありませんでした。  ・当事者団体の方々が行っている体験型のコーナーはとても良いと思います。このコーナーのおかげで、県民ホールのパネル展示が活きます。当事者の困難と、まわりの人ができる配慮が、来場者に伝わると考えます。  ・今回初めて参加されたファンケルさんの取り組みは以前から注目していました。最初の頃から参加されている団体の方や、委員の方に異論が無ければ、広報面でもっと前面に押し出せないでしょうか。マスコミもニュースにしやすいはずです。  ・他のコーナーを見る時間がなかったため、不明。  ・プロジェクター画面が大きく、活動の様子を大きく映像で見せることができた。また、チラシの配布などをしながら、立ち寄ってくださる方にピンクシャツデーアクションについて説明することができた。  ・景品交換のコーナーで、バリアントールで玉の色の分かりにくさ体験をしてもらった。  ・車いすの体験と、ボッチャ体験の人気があると思いました。やはり、自分でいろいろ実際に体験するのは人気なんだと思います。  ・企画とは違うかもしれませんが、ピンクのTシャツがかわいかったです！当初、色が濃すぎる・・・？と思いましたが、実際に着てみるとすごくかわいく、みんなの一体感も出て良かったです。ありがとうございました。  ・学校の紹介ボードの掲示…本校の活動内容や給食などに関心をもってくださる方がいらした。  ・ボッチャのルールや特徴の紹介ボード…ボッチャについての話題が広がった。  ・ボッチャのボールに触れるコーナー…視覚障がいのある方がボールに触って、実際に感触を確認し、体験にのぞむことができた。  ・有名人を講師にお招きすると集客につながるので、良いと思いました。  ○参加委員  ・体験型は参加者が増える、楽しめる、感じることが増え、思いが高まるだろう。  ○不参加団体  ・特になし |

問５　貴団体において、今回のフェスタで行った広報を記載してください。（○はいくつでも）(n=17)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １ | 団体内への広報用ちらし配布 | 16 |
| ２ | 広報用ちらしの一般配布（配布場所：来客者への配布、ファンケルそごう横浜店、事業所のカフェ、神奈川県民ホールロビー、関係団体、フォンテーヌ店舗、かながわ福祉サービス振興会の研修生への配布、神奈川難病連のイベント時、セミナーでの配布） | 10 |
| ３ | インターネットでの告知  （広報手段：ホームページ・Twitter・Facebook・その他（ブログ、メーリングリスト）） | 6 |
| ４ | 広報媒体への掲載  （具体的な広報媒体：住まいとまちづくり（まち協発行の情報誌）、かな視協便り、座間市手をつなぐ育成会） | 4 |
| ５ | テレビやラジオなど、マスコミを使った告知  （具体的な広報媒体：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | 0 |
| ６ | その他（　社内イントラネットでの報告、　　　　　　　　　　　　　　） | １ |
| ７ | 広報は実施していない | 0 |

問６　次回フェスタが開催されるとしたら、また参加したいと思いますか。あてはまるものを１つ選んでください。（○は１つ） (n=17)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １　参加したい 15 | ２　分からない 2 | ３　参加したくない 0　４　未回答　　0 |

【問６で「２分からない」「３参加したくない」とお答えの方に】

問６－２　参加したいと思えなかった理由は何ですか。（○はいくつでも） (n=2)

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| １ | 準備する時間がない 0 | ２ | スタッフが確保できない 1 | ３ | 予算がない 0 |
| ４ | 団体の取組みと  フェスタの趣旨が違った 1 | ５ | 効果が少ない 0 |  |  |
| ６ | その他　0（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | | | | |

問７　昨年に引き続き、そごう横浜店９階で実施しましたが、開催場所について、御意見がありましたら、自由に記載してください。

|  |
| --- |
| 〇出展団体  ・特になし  ・来場者の集客力を考えると、そごうでよいと思う。  ・横浜そごうでの開催は駅からも近く良いのですが少し狭く感じました。  ・９階フロアで２０のコーナーが集まれば仕方ないのかと思いますが通路が狭く感じました。  ・２年ぐらいはそごう横浜店９階で良い。  ・問8のとおり、「介護フェア」等と同時開催であれば、特段の意見はありません。  ・百貨店の9階と言う事もあり、フリーのお客様と思われる方が何組かいたので、集客には繋がっていると思う。都市の百貨店内で行うのはとても良いと思います。来年度もそごう9階で続けてほしい。  ・通路が狭くて、車いすや誘導は大変そうだと感じた。  ・建物自体は駅から近くて外を歩くことなく行くことができるので大変便利だが、9階まで行く必要があるため、通りがかった人たちに来てもらうという面ではちょっとマイナスである。  ・百貨店自体が特別な時に行くところなので、アリオ橋本のように日常的に行くような施設の方がより多くの一般県民に来てもらえるのではないかと思う。  ・もう少し、通りがかりの方が参加しやすい場所だといいと思います。  ・開催の周知のことが毎回大きな問題だと思いますので、同じ会場でやることで周知されやすいことはあると思います。  ・会場として、県民センターもよいと思います。  ・デパートという場所柄さまざまなタイプの人が来ます。通りがかりの人、内容に興味は無く無料の景品だけが目当ての人がいても、それはそれでいいのではないでしょうか。  ・フェスタの名だけでは集客出来ないので、来年も同じ場所で良いかと思います。  ・集客、スタッフの参加のしやすさなど、立地的には申し分ないが、各出展団体がひしめき合っており、若干狭く感じた。  ・折角そごうでやっているので、もっとそごうに来られているお客様を誘導できると更に良いと思う。  ・良かったと思います。天候等に左右させずに実施できるので、安心でした。  ・子供向けのイベント会場、イベントとの抱き合わせにしてはどうか。  ・そごう９階の立地は良いと思う。  ・そごう横浜店の集客力があり、人がたくさん来たのでとても良かったです！  ・介護フェアの場所（奥に入るところ）よりも、センタープラザの方が人通りが多かったです。  ・ファンケルでは1階にお店もあるので連携できたことがとても良かったです。  ・買い物や食事に来た方が「バリアフリーフェスタ」の開催を知って参加してくださることもあり、場所としては適切である。  ・開催場所や時期を定めることで、広く周知されるのではないか。  ・昨年に続き同じ場所での開催でした。この方が毎年参加される団体にとっては、要領がつかみやすいので良いのではないかと思いました。  ○参加委員  ・そごうという場所だからか、内容だからか、分からないが、子どもが少なく、他にもっといい場所があるように感じる。県庁とかはどうか。  ・室内は天気の影響を受けにくく良い面が強い。でも、閉鎖的で窮屈に感じた。お散歩だったり、デート等で山下公園でのダウン症のウベントにはたくさんの人（ダウン症以外の人）が来る。  ・飲み物や食べ物、参加型のイベント、サポートDOGとのふれあい、シャボン玉シャワーなど、イベントに関係なく人が集まり、ついでに興味を持ってもらえるような形で開催してはどうか。（もちろん天気が悪かったら人は集まらないが、臨港パークのイベント等）  ・そごうは駅近だし、便利だけど、決して人の流れがあるところではないと思った。  ○不参加団体  ・特になし |

問８　今回、複数のイベントと同時開催し集客増加を図りましたが、こうした他イベントとの同

時開催についてどう思われるか、自由に記載してください。

|  |
| --- |
| ○フェスタ出展団体  ・特になし  ・同時開催でよいと思うが、介護フェスタの来場者とバリアフリーフェスタの来場者数が分かれば教えてほしい。  ・お互いの企画で、相乗効果が期待できるのであれば、同時開催賛成です。その場合には、た  だ同じ日にやっていますというだけだと、お互いの主たる参加者が、それぞれを見たりしただ  けで帰ってしまうことも考えられますので、お互いのイベントの枠にとらわれることなく、相  互に乗り入れた企画があるといいですね。たとえば、スタンプラリーは、介護フェアにはなじ  まないですか。  ・同時開催による集客アップはあったと思う。  ・ほとんどの人は1つのイベントと思われていたようだ。  ・集客という観点では、複数のイベントとコラボして実施するのは有効だと思います。２年間  「介護フェア」と同時開催しましたが、今後は、学生や子どもが集まるイベントと同時開催す  ると、さらに効果があるのではないでしょうか。  ・思ったより多くの人が訪れたので効果はあったのではないかと思う。でも、他のイベント目  的だった人が寄ってくれたのかどうか。  ・他のイベントが介護フェアということもあり、年齢層も比較的高く、子供や若者が少なかったのは残念である。  ・介護のスペシャルゲストの講演の間はお客様の動きがなく、ブースはさみしい状態だったので、その時間をどうするか考える必要があると思う。  ・集客にはとても良いと思います。  ・テーマが近い行事との併催であったり、子供を含めた一般の人が対象の行事との併催とかができたらと思います。  ・問７と同じく、今はフェスタの名だけで集客できないので、集客力のある催しとの同時開催は仕方ないと思います。来年のオリパラ終わりと共にバリアフリーに対する世間の関心は低下すると思われます。一方、介護はこれからさらに需要と注目が集まるので、乗っかってもいいと思います。ただ、いずれは、オリパラのレガシーとして社会に根付き、単独でイベント開催できるくらいになれたらいいのですが。  ・少しザワザワした感じがした。もう少し落ち着いた雰囲気でもいいと感じた。  ・良かったと思います。同じ会場での開催で、より多くの方にバリアフリーについて考えていただくことができました。同じ会場で開催するメリットをより活用できるように工夫ができたらと思いました。  ・集客効果はあると思われるが、景品係として気づいたのは、ほとんど？の人が最低限３つのコーナーしか回っていないこと。スタンプラリーの限界を感じた。  ・介護フェアの各メーカーのブースがどうだったか知りたい。  ・介護フェアとの場所の隔たりを感じました。（物理的に、遠い）介護フェアの場所だと、ふらっとフリーで入るには敷居が高く、入りづらいので、オープンスペースのセンタープラザの部分がすごく良かったです。  ・介護フェアとの連携は特に感じなかったのですが、スタンプラリーのスタンプを集めたくて、両方に参加している方が複数見受けられました。バリアフリーフェスタ内での連携(アデランス様との連携、視覚障がい協会様、ライトハウス様との連携)はかなりあったので、良かったです。来年も出展させていただけるなら、さらに連携して、告知をしっかりやりたいです。（視覚障がいメイクだったら、神奈川県の盲学校にアナウンス、など）  ・来年、介護フェアともっと連携する必要があるなら、場所の選定と、お互いに案内できるくらいに同時開催のイベントの内容をしっかり共有する必要があると思いました。  ・多くの方の参加が見込まれるため、同時開催がよい。  ・複数での同時開催はお客様が流れて来ること、そして新聞や電車の中吊り広告も人の目に触れるので良いと思いました。  ○フェスタ参加委員  ・同時開催は集客面においても、色々な人に来てもらう面でも良いこと。  ・同時同場所での開催なのに別のイベント感が強く、打合せの段階から一緒にするべき。  ○フェスタ不参加団体  ・特になし |

問９　その他、御意見や御感想などありましたら、ご自由にお書きください。

|  |
| --- |
| ○フェスタ出展団体  ・特になし  ・アンケート記入コーナーが設置されていたが、ほとんど人がいなかったように思います。  ・各コーナースペースと比較すると、アンケート記入コーナーはかなり広いスペースをとっていたと感じた。  ・アンケートの集計内容を知らせてほしい。  ・記録写真とは思うが撮影方法に問題があると感じたので、撮影にある程度の配慮は必要だと感じた。  ・当コーナーの開催準備後、開始まで30分程度の間隔がありました。開始したら17時に終了となると、かなり体力的にハードなので、終了を16時30分にして開始を30分前倒しにすることもできるのではと思ってしまいました。  ・お昼を過ぎてからが、長く感じる。うちのコーナー固有の感覚でしょうか。  ・イベントの立て看板が、センタープラザの奥のエスカレーターの前にあり、役立ってなかった。移動させてもらいましたが、次回は配慮が必要だと思う。  ・車椅子体験せずに、スタンプラリーのハンコだけ押してくれと言う困った人が何人かいた。  ・今後も継続してほしい。  ・スタンプラリーの最低のスタンプ個数（３つだった）をもっと多くして、全部のブースを回ってもらえるようにしてほしい。  ・お疲れ様でした。  ・来年のフェスタは、オリパラのレガシーを社会に根付かせるための一歩です。オリパラが終わったから規模縮小などと考えず、広報予算を確保してください！  ・今回、コーナー参加人数が少なかったため、来年も参加の機会を頂ければ、もっと見に来てくれるよういろいろな面で工夫を凝らしたいと思う。  ・開始早々いの一番に黒岩知事にお越し頂き、大変感謝の気持ちと共に、ロービジョンを体験頂いて、我々の見え方をアピールすることが出来て大変良かった。  ・特にありません。会場設営など、いろいろお世話になりまして、ありがとうございました。  ・今回、バリアフリーフェスタに初めて出展させていただいたことで、いろんな団体の方とお知り合いになれたこと、また、当日もたくさんのお客様にファンケルの視覚障がいメイクの取り組みを知って頂くことができて、本当にありがたいと思いました。事前の準備や当日の設営など、神奈川県庁のみなさま本当にありがとうございました！また是非宜しくお願い致します。  ・2年間、ボッチャのブースを担当した。昨年度は2コート、今年度はスペースの関係で1コートで実施した。多くの方にボッチャを体験していただくためのコートを設定するにあたり、可能であれば、もう少しスペースがあるとよいと思う。  ・多くの方が関心をもって来場していただけるように、ポスター等の掲示場所や広報誌への掲載など、さらに周知のための工夫が必要ではないか。  ・いろいろとこちらの要望を聞き入れてくださり、手配等お手数をお掛けしてしまいました。  来場されたお母様方から「大成功だった」「良かった」とご意見を頂戴しました。大変お世話になりありがとうございました。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。  ○フェスタ参加委員  ・介護フェアと同時開催だからだろうが、年齢層が高く、子ども、青年、親子などがもっと来てみたいと思うようなアイデアが必要。  ○フェスタ不参加団体  ・特になし |